

創造的な復興へ

県政紹介シリーズ③



医学部新設への支援

~東北の地域医療を担う医師の育成を目指して~

東北地方の震災復興、医師の不足や偏在の解消、地域医療の再生・発展を目指し、平成28年4月に東北医科薬科大学医学部が新設されます。県では、新たに創設された医学生修学資金の原資の拠出やキャンパス整備費の補助などにより、これらの地域医療の担い手の育成を支援していきます。



東北薬科大学 小松島キャンパス



東北薬科大学病院

県としての支援

県では、「東北地域医療支援修学資金(宮城県枠)」の原資の拠出や仙台市宮城野区福室の医学部キャンパスの建設費補助を予定しています。東北地方の地域医療の発展に向け、今回の医学部新設に大きな期待を寄せており、今後とも支援を続けていきます。

使命感ある総合診療医を育成

東北薬科大学 放射線核医学教室教授
福田 寛さん

東北薬科大は来年4月、医学部を新設し東北医科薬科大として新たにスタートする。就任予定の医学部長として、東北に定着する医師を養成していく。「東北の医療を支え、地域医療のニーズに応える医師を育てます。地域の医療現場ではさまざまな病気を持つ患者がいますので、幅広い能力を備えた総合診療医が求められます。地域在型の地域医療教育も推進し、介護や保健も含めた地域包括医療を学生の頃から学んでほしい」

「学生の診療実習の場として石巻と登米に地域医療教育サテライトセンターを設置。6県に地域医療ネットワーク病院も設け、教育の拠点とする。「学生時代に学んだ場所を第二のふるさとだと感じてほしい」と望んでいる。

求める医師の理想像は高い。「人間性が高く、思いやり、弱者へのいたわりを持った人材を育てたい。だから教養教育も充実させます。その上で確かな医療の技術と知識を身に付けてもらいたい」

東北で不足する医師の育成、定着を図るために、修学資金制度を充実させたことが新医学部の特長。東北で地域医療に一定期間携われば、返済を免除されるため、学生の経済的負担を軽減できる。「宮城県の支援もあって奨学金を運営する一般社団法人も設立しました。今後もずっと県とは連携していきたい。地域医療の創造に共感し、使命感と熱意を持った学生に志願してほしいですね。新しい医学部は一からつくっていくことになります。みんなで力を合わせて素晴らしい医学部にしていきます」

■企画 / 県広報課 ◎お問い合わせ / 県医師確保対策室 022(211)2465

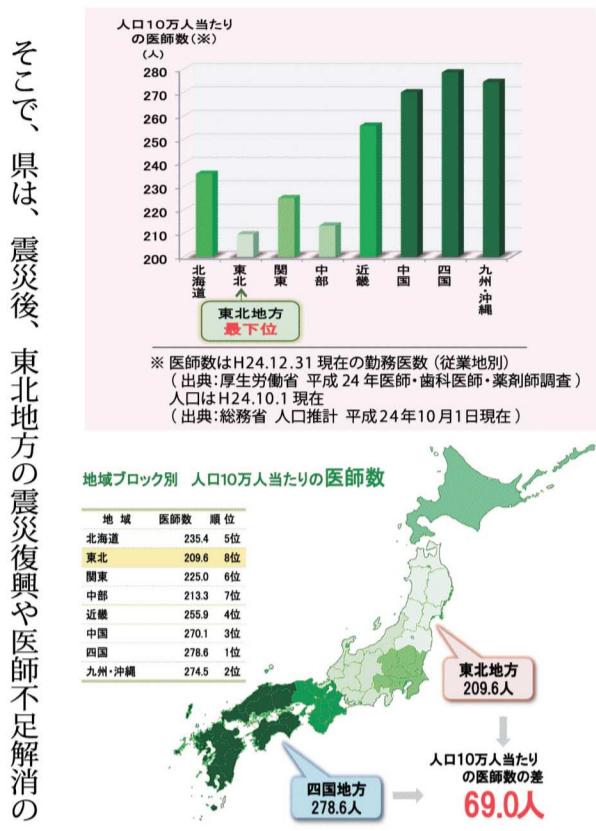
医学部新設への支援

~東北の地域医療を担う医師の育成を目指して~

東北地方の震災復興、医師の不足や偏在の解消、地域医療の再生・発展を目指し、平成28年4月に東北医科薬科大学医学部が新設されます。県では、新たに創設された医学生修学資金の原資の拠出やキャンパス整備費の補助などにより、これらの地域医療の担い手の育成を支援していきます。

そこで、県は、震災後、東北地方の震災復興や医師不足解消のため、国に対し東北地方への医学部新設を要望しました。その後、今年8月31日、東北医科薬科大学医学部の新設について正式に国から認可を受け、平成28年4月から開学する運びとなりました。医学部の新設は、国内で37年ぶりとなるもので、全国からも注目されています。

国公立大学並みの学費負担となる貸付制度



医師の不足と地域偏在

人口10万人当たりの医師数は西日本が多い傾向にあり、東北地方は全国の地域別で最も医師が不足しています。

地域に根付く医師を育てます

使命感ある総合診療医を育成

入試日程【一般入試】

○一次試験

試験日 平成28年2月1日(月)

試験場 仙台、東京

合格発表 平成28年2月8日(月)

○二次試験

試験日 平成28年2月13日(土)

試験場 仙台

合格発表 平成28年2月19日(金)

※入試に関するお問い合わせ

東北薬科大学 022(234)4181

地域の医師確保に光明

石巻市病院局長兼石巻市立病院院長
伊勢 秀雄さん

東日本大震災の津波で病院1階が水没し、患者や医療関係者ら約500人がヘリコプターで救出された石巻市立病院。2016年夏の開院に向けて新病院の建設が着々と進む一方、震災後、被災地の医師不足はさらに深刻化し、医師確保が喫緊の課題になっている。

「仙台の医師充足率は高いが、その他の地域では50~60%と低い状況にあります。特に沿岸部はそうした傾向が震災前から強かった。東北医科大に医学部が新設されることで、東北にとどまつて働く臨床医を増やすという点に大きな意義があり、当地域の医師確保に期待ができます」

新医学部の参加型臨床実習に協力し、学生が地域医療を学ぶ「サテライトセンター」が設置される。大学側が複数の医師を教官として常駐させ、病院スタッフの一員として学生を指導する。

「学生や教官はいわば外からの風で、組織を活性化します。学生にとって病院は現場医療そのもので、患者や地域住民の要望を聞きながら自分のあるべき医師像を真剣に考えるチャンスになる。教官も教える側に立ち、しっかり勉強する。当病院には良い刺激になります」

石巻には市内から車で約1時間かかる牡鹿半島に寄磯診療所がある。常勤医の確保が難しく、現在は伊勢院長らが週2回通つて診療している。

「医療過疎問題は特定の医師だけ頑張っても解決しない。組織の中で人を動かすシステムをつくる必要があります。新医学部に入った人たちが、地域の立派な臨床医に育つことを願います」

届いていますか マイナンバーの通知カード

みやぎNPOプラザ内レストラン・ 貸事務室使用団体募集

宮城県最低賃金の改定

宮城県最低賃金は県内の事業場で働く全ての労働者に適用されます。

●募集期間／12月1日(火)～平成28年1月20日(水)

※応募できる団体には要件がありますので、資格要件、使用条件、応募方法など詳しくは、下記へお問い合わせくださいか、ホームページの募集要項をご覧ください。

●みやぎNPOプラザ 022(256)0505

<http://www.miagi-npo.jp/plaza/bosyu/>

●県共参社会推進課 022(211)2576

県内のNPOや市民活動を支援する県の施設「宮城県民間非営利活動プラザ(みやぎNPOプラザ)」では、参内式内レストランを運営する団体と貸事務室を使用する団体を募集しています。

●募集期間／12月1日(火)～平成28年1月20日(水)

※応募できる団体には要件がありますので、資格要件、使用条件、応募方法など詳しくは、下記へお問い合わせくださいか、ホームページの募集要項をご覧ください。

●みやぎNPOプラザ 022(256)0505

<http://www.miagi-npo.jp/plaza/bosyu/>

●県共参社会推進課 022(211)2576